

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年1月15日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 2779500673 | | |
| 法人名 | ジャパンケアネットサービス株式会社 | | |
| 事業所名 | グループホーム ミズナス | | |
| 所在地 | 〒599-0204 大阪府阪南市鳥取475-1 (電話) 073-473-8801 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター | | |
| 所在地 | 〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1番21号八千代ビル東館9階 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年12月16日 | 評価確定日 | 平成22年1月28日 |

【情報提供票より】(平成21年11月6日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------------|-----------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 16 年 12 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 23 人 | 常勤 9 人, 非常勤 14 人, 常勤換算 23 人 | |

(2) 建物概要

| | |
|------|----------------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り |
| | 2階建ての 階 ~ 2階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|--|----------------|------------------------------------|---|
| 家賃(平均月額) | 60,000 円 | その他の経費(月額) | 31,500 円 | |
| 敷金 | 有() 円) <input checked="" type="radio"/> 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | <input checked="" type="radio"/> 400,000 円) 無 | 有りの場合 償却の有無 | <input checked="" type="radio"/> 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 1,500 円 | | | |

(4) 利用者の概要(11月6日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 16 名 | 男性 | 5 名 | 女性 | 11 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 5 名 | | |
| 要介護3 | 6 名 | 要介護4 | 2 名 | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 85 歳 | 最低 | 77 歳 | 最高 | 97 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------------|
| 協力医療機関名 | 羽原病院 志賀歯科 みつばクリニック |
|---------|--------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

南海本線鳥取の庄駅からほど近い少し高台になった所に位置し、青い海と山の緑が間近に見えユニット名も「うみがわ」「やまがわ」と称されています。広々とした建物は転倒時の衝撃をやわらげるコルク材が使われていたり、24時間換気システムが設置されるなど利用者の生活に配慮された造りとなっています。利用者本位の支援を心がけ、毎日ミーティングを行い情報を共有し介護計画が立てられより良いケアへと取り組まれています。専門の調理士が作る美味しい食事が提供されていたり、1階に併設されているデイサービスの大浴場での入浴を楽しむこともでき、利用者の満足に繋がっています。医療面においても往診のたびに「療養状況の報告書」が家族とホームに送られ、家族と医師、職員が同じ認識を持ち、必要時には話し合いを重ねながら重度化している利用者の生活を支えられています。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回の評価の改善点は、理念を玄関に掲示するなどできることから少しずつ取り組んでいます。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 自己評価、外部評価をミーティングでよく話している。今回の自己評価は各ユニットリーダー、正職員でまとめケアマネージャーの意見も聞いて作成しました。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 今年は新型インフルエンザ感染予防の為運営推進会議の開催は出来ていません。来年からは2ヶ月に一度開催する予定です。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 家族が面会時によく話を聞くように心がけ、利用者の様子や状況も詳しく報告しています。意見など聞かれた時は検討しサービスに反映させ運営に活かしています。 |
| 重点項目⑤ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 利用者が個人的に入居前の地域とのつながりを保ち活動に参加しており、自然に地域とのつながりができています。ホームから見える場所にお祭りのやぐらも休憩に立ち寄り利用者も楽しみなひとときとなっています。 |

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|---|------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「心の介護」を基本に利用者、家族、職員の願いを聞き、想いを込めたホーム独自の理念を4つの項目から作成されている。地域の中での暮らしも含め利用者一人ひとりの生活を支援できるようにと考えられている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 経験のない新人職員には入職時ではなく少し介護の現場を経験してから丁寧に理念の説明をしている。管理者、リーダーはいつも理念を念頭に指導し、ミーティングでも話し合い共有されている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 利用者が個人的に入居前の地域とのつながりを保ち活動に参加しており、自然に地域とのつながりができている。ホームから見える場所にお祭りのやぐらも休憩に立ち寄り、利用者も楽しみなひとときとなっている。 | ○ | ホームとして自治会や地域との関わりは少なく、今後交流していきたいと考えている。運営推進会議等をきっかけに交流が図られることを期待します。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価、外部評価をミーティングでよく話している。今回の自己評価は各ユニットリーダー、正職員でまとめケアマネジャーの意見も聞いて作成したが、全職員の意見を聞くところまでは至っていない。前回の評価の改善点は理念を玄関に掲示するなどできることから少しずつ取り組んでいる。 | ○ | 各評価の項目の意義を理解することは実際の介護の視点が変わることもあり、全職員が自己評価に関わることが期待される。 |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 今年は新型インフルエンザ感染予防の為運営推進会議の開催は出来ていない。利用者の予防ワクチンの接種ができたこともあり、来年からは2ヶ月に一度開催する予定である。 | ○ | 今後2か月に一度の定期的な開催により、ホームの取り組み内容を知ってもらったり、地域の情報等を得るなどサービスの向上につながることを期待します。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|---|------|---|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 今年は特に新型インフルエンザ流行の情報等で市との行き来があり、相談できる関係作りができた。また、月に一度2名の介護相談員が来訪し、6か月に一度市担当者を含め話し合いをもっている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 家族が面会に来られた時は利用者の健康状態や暮らしぶりを話している。2週間に一度ホームの協力医療機関の往診医から個別に持病の状態や健康診断の結果が家族に報告されている。金銭管理は預かり金対応で、毎月領収書等を添えて収支を報告している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族が面会時によく話を聞くように心がけている。意見など聞かれた時は職員間で検討し利用者へのサービスに反映させ運営に活かしている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 今年は異動、離職はなく馴染みの関係は築かれている。管理者等は職員の精神的な面でのサポートするためにも、よく話を聞くようにしている。新しい職員が入った時には、馴染みの職員がフォローしたり、利用者に教えてもらう姿勢を持ち、信頼関係を作っている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員を育成する計画は立てているが外部の研修を受講する時間があまり確保されていない。目標を持って入職する職員が多く、日々の介護の現場での疑問や質問はよく聞いてベテラン職員が説明や対応をしながら職員を育成している。個々に細かな目標を立て、達成していくことで職員のやりがいにもつながっている。 | ○ | ホームとしても外部研修への参加を課題に挙げており、必要な研修の情報を得てシフト調整などを行い、実現されることを期待します。 |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 近隣のグループホームとは管理者間で情報交換している。阪南市でのグループホームの勉強会には参加しており、今後職員同士の交流に取り組んでいくように考えている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用者の状態にも配慮して併設のデイサービスを利用いただきホームの職員がデイサービスに行き顔なじみになったり、ホームへも来訪してもらい一緒にお茶を楽しんで入居につなげている。また、ホームの見学は必ず家族だけでなく利用者にも来てもらっている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 長年にわたって家事等の経験を活かしての洗濯物の干し方や生活の知恵を教わることも多くある。職員と共に支えあうことでコミュニケーションが取り信頼関係を築いている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 毎日ミーティングを行い職員間の情報を共有し、支援経過に記録として残している。また計画作成者は午前中は利用者と共に過ごしなが意向の把握に努めている。入居前には家族にセンター方式の記入もお願いしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 家族に記入してもらったセンター方式の一部(私の暮らし方ノート)をもとに介護計画を作成している。2週間に一度医師からの健康状態の明細「療養状況の報告書」が家族と計画作成者に届き医師の意見や毎月のモニタリングでの職員の意見も取り入れて計画を立てている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画は6ヶ月に一度定期的に見直している。毎日のモニタリングや毎月のカンファレンスでの職員間の意見や医師からの健康状態の報告書も参考にして状態の変化にもすぐに見直し対応している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|----|---|--|------|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者の指定する美容院の送迎や個別の買い物等要望に応じて柔軟な対応をしている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居時にはかかりつけ医からの情報をもらっている。また希望があればそのままかかりつけ医の継続も可能である。提携医の往診は2週間に一度あり緊急の時は24時間対応できる体制がある。歯科医の往診も週一度あり歯科衛生士による口腔ケアも行き届いている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 入居時にホームとしての重度化や看取りの指針について説明している。ターミナルケアの経験があり、早い段階から家族、医師、職員と話し合い連携を密にして方針を共有し支援を行っている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 同じ目線で話すことを心がけ、利用者との信頼関係を大切に言葉づかいに気をつけている。不適切な対応が見られたときには、その都度注意している。個人情報に関する記録物は事務所に適切に保管されている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者のペースを大切に支援している。レクリエーションは誘いの声をかけ希望する利用者に参加していただき、その日の過ごし方は利用者本位を心がけ見守っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 昼食と夕食は併設のデイサービスの調理師が作る食事を提供している。日曜日は職員と利用者と共にホームで作っている。配膳、後片づけは負担にならないように一緒にしている。職員も同じテーブルに着き一緒に会話をしながら食事の時間を過ごしている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 併設のデイサービスのジャグジー付きの大浴場で入浴を楽しんでいる。基本的には隔日に入っているが、希望に合わせて毎日入浴される利用者もいる。入浴を拒否される利用者には言葉かけの工夫をして入浴してもらっている。ホームのお風呂に好みの入浴剤等を入れて入ってもらうこともある。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 食事時の配膳、後片づけや箒による掃除、金魚の餌やり等役割を持っていただくように支援している。書道、読書好きな方や職員と将棋に興じる利用者もいる。好きな物の買い物や外出で気晴らしの時間を作っている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 日々の散歩や近くのコンビニへ買い物に出かけているが、出かけられない時や利用者には広いバルコニーに出てお茶をのんだりおやつを食べたりして外気浴を楽しまれている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 1階のホームの玄関は日中鍵をかけていないがエレベーターはキーロックされている。利用者の見守りやコミュニケーションを多くとりながら閉塞感のないような支援に努めている。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回の避難訓練をしている。一度は消防署立会いで他はレクレーションを兼ねて昼夜間帯対応の訓練をしている。今後は地域の人々の協力を得られるよう取り組んでいく予定にしている。 | ○ | 運営推進会議の再開と共に地域の人々の協力が得られるような働きかけを期待します。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 専属の料理人がいるので毎回バランスの良い高齢者向けの食事を提供している。水分、食事の摂取量はチェックしており特に夏季、冬季とも水分摂取は慎重にしている。個々の好みや状況に応じて刻み、ミキサー食、とろみをつけるなどの対応している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 2ユニットが同じ階にあり利用者が自由に行き来でき、各所に安定感のある椅子が配置され、休憩場所や手すり代わりにもなっている。フローア下にはクッション材を入れているため床が柔らかく、24時間換気システムが導入されて臭いのないように配慮され建設されている。季節を感じる飾りや写真、加湿器を置き、利用者にとって安心と過ごしやすさを考え空間作りを行っている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 洋室、和室(たたみの間)があり各居室には洗面台、鏡も取り付けられている。使い馴染んだ小物や家族の写真、人形等が飾られていて利用者が安心する空間になっている。 | | |